

目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション(※)の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課:環境政策課】

目標19の進捗状況

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
地域資源を活用した環境学習(※)の回数	83回	88回	83回	97回	100回
地域資源を活用した環境学習の実施校数 (市立小中学校総数:32校)	31校	30校	29校	30校	31校
こどもエコクラブ登録クラブ数	8クラブ	5クラブ	5クラブ	3クラブ	10クラブ

*スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
スクールエコアクション導入校	市立全小中学校 (32校)				



スクールエコアクション発表の様子

トピックス

スクールエコアクションとは？

スクールエコアクションとは、学校生活での環境活動について目標を立てて実行し、振り返りをして次につなげていくシステムです。市内全ての市立小中学校で導入し、生徒会などが中心となって省エネ、省資源をはじめ、自然環境や地域特性を活かした特色ある活動を行っています。



出前授業(梅田中学校)



自然たんけん隊(松浪小学校)



取り組み発表(浜須賀中学校、鶴が台中学校)



自然観察(鶴が台中学校)



「スクールエコアクション」マーク

重点施策36 地域と連携した環境教育

37 学校における取り組みの支援

■概要

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)を導入・運用し学校生活での環境活動の実践と浸透のための仕組みを確立します。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組み等を紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

■平成27年度の取り組み

①環境教育の充実に向けた情報提供の仕組みの構築・運用

事業名	取り組み結果	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール(※)」掲載情報の随時更新	・「環境学習News」、「みんなの環境基本計画特集号」の発行や「里山はっけん隊!」、「こどもエコクラブ交流会」、「スクールエコアクション発表会」、「出前授業」等の実施に合わせて適宜内容を更新しました。	環境政策課
学校関係者への支援サイト周知	・市立小中学校の「総合的な学習」の時間担当者宛に教員向け環境情報を載せた「環境学習News」を送付し、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の掲載内容等を周知しました。	

②学校の環境教育に対する支援等

事業名	取り組み結果	担当課
出前授業の実施	・出前授業のメニューを9つ設定し、学校からの要望に応じて、職員が授業を行いました。15回(景観みどり課6回、環境保全課1回、資源循環課6回、農業水産課1回、環境政策課1回)で約2,020人の児童、生徒が参加しました。 ・「身近な河川の水質を調べよう」では、千ノ川から採水し、簡易測定キット等により調査し、調査結果を班ごとにまとめ、採水や分析時に気付いたこと等を含め発表し、生徒の環境に対する意識の向上や体験を通して得られる行動力に寄与しました。18人が参加しました。 ・「自然環境観察会」等は、小中学校や公民館等と連携しながら、茅ヶ崎の地形、茅ヶ崎の川や谷戸、自然環境と生物、在来生物と外来生物の関係、表土と盛り土の関係、変わりゆく身近な自然等について観察会等を実施しました。茅ヶ崎里山公園、千ノ川、校内において計6回実施し、980人が参加しました。 ・「茅ヶ崎市のごみと資源物の分別方法やごみ収集車「パッカー君」の仕組みを学ぼう!」では、市内小学4年生を対象にごみ収集車「パッカー君」を間近で披露しながらごみと資源物の分け方・出し方や資源物の再資源化について説明を行いました。計6回実施し、667人が参加しました。 ・「地産地消の推進について」では、市内の農業(野菜、果樹)、畜産業(肉牛、乳牛、豚)、漁業の現状に加え、これらに携わる方々は多くの苦労がある中様々な工夫や努力をしながら仕事をしており、食事の際は感謝の気持ちを忘れないようお願いしました。この授業で学んだことは、児童が茅ヶ崎産の野菜、魚、肉等を活用したおかずを考案し、商店会とのお弁当作りに活用しました。148人が参加しました。 ・環境市民会議「ちがさきエコワーク」の方を講師に迎え、「私たちの暮らしと茅ヶ崎の環境」を出前授業しました。講義では、3つのテーマ「ごみ・資源物」「地球温暖化」「自然環境」について、茅ヶ崎市の状況、世界や日本での状況、私たちの暮らしへの影響などを説明しました。ワークショップでは、班に分かれて、テーマ毎の課題を解決するために家庭や学校で何をすべきか話し合い、模造紙にまとめ発表しました。	環境保全課 資源循環課
自然観察会等への支援	・8月19日に茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会と共催で小中学生16名を対象に鶴が台中学校の先生を講師に招き、駒寄川の生物相調査を実施しました。	環境保全課 景観みどり課
「パッカー君のごみ探検」の配付	・重点施策22をご参照ください。	資源循環課

③スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践

事業名	取り組み結果	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	・市内の小中学校で、地域の特色を活かしながら着実に取り組みを実施しています。 *詳細は市ホームページをご参照ください。	環境政策課 学校教育指導課
スクールエコアクション発表会の実施と、学校訪問等を通じた発表内容の充実に向けた支援	・「ちがさき環境フェア2015」において、浜須賀中学校、鶴が台中学校の生徒による発表会を行いました。 ・発表を終えた生徒からは、「エコ活動に対してより高い意識を持つことができた」、「他校の発表を聞いて、よい刺激となった」等の感想がありました。	

④児童や生徒の環境への関心の向上に向けた情報提供

事業名	取り組み結果	担当課
学校教員に対する支援の充実	・教員向けの環境情報を載せた「環境学習News」を発行し、総合的な学習の時間などに利用できるツールを市立小中学校へ周知しました。 ・「環境学習News」には出前授業の内容を中心に、スクールエコアクション発表会の様子や動画「茅ヶ崎の四季と自然」の紹介などを行いました。	環境政策課

■平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
スクールエコアクション発表会	30千円	30千円	30千円	環境政策課
環境学習事業(出前授業など)(再掲)	324千円	223千円	161千円	資源循環課
合計	354千円	253千円	191千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・スクールエコアクションに基づいた市内各小中学校での特色ある取り組みの情報発信や、「ちがさき環境フェア2015」での発表会等について、予定どおり実施できました。 ・スクールエコアクション発表会は、生徒が寸劇を取り入れ、取り組み内容について工夫を凝らした発表を行うなど、学習効果が高く、見ている方も楽しいものとなりました。 ・学校のニーズに応える形で、環境市民団体「ちがさきエコワーク」のご協力をいただき出前授業を実施するなど、市民団体と連携して学校における取り組みを支援できました。 ・小学4年生を対象にゲームを取り入れた環境学習を実施し、ごみの適正分別について啓発を行いました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・学校教職員にとって、学校における環境学習といえば、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」という認識になるよう、周知に工夫を行う必要があります。 ・学校ごとに実施したい学習や、取り上げてほしい内容が異なる場合があるため、ニーズに合わせた環境学習のメニュー作りが必要となります。	



市内の川の水質調査の様子